

コンセッション事業の成功ポイント

1. 情報開示

民間事業者が事業計画(収益、費用など)を検討できるよう、公共側が民間事業者に対して、必要な情報(従前の入場者数、利用条件、費用等)を開示すること。

2. 官民対話

コンセッションの制度設計に反映させることを目的として、幅広く民間事業者の投資意向調査(マーケットサウンディング)を実施すること。

事業者の選定にあたって、民間事業者の自由な発想・提案を取り入れるためにも、守秘義務契約を締結したうえで、十分な官民対話(競争的対話)の機会を確保すること。

3. モニタリングの実施

実施契約において、官民の役割分担を明確にするとともに、運営開始後、公共側が運営権者のサービス水準をモニタリングすること。